

# ねっとわあく

219  
MARCH



2012年賀詞交歓会を開催しました。各界より多くの御来賓の皆様にご出席をいただきました。

## CONTENTS

● <b>県生協連活動報告</b>	HACCPサテライトセミナー .....	6
2012年賀詞交歓会.....	消費者問題シンポジウム .....	7
下期研修会.....	● <b>国際協同組今年・協同組合間活動報告</b>	
マスコミ懇談会.....	第2回長野県実行委員会.....	7
● <b>機関会議報告</b>	オープニングイベント.....	8
第7回理事会.....	長野灯明まつりでのPR活動.....	8
● <b>部会等活動報告</b>	国際協力田米の合同発送式・学習会.....	9
長野市と介護福祉部会との懇談会.....	● <b>その他活動</b>	
長野県生協災害対策協議会.....	栄村豪雪支援.....	9
● <b>県消団連活動報告</b>	障害者クロスカントリー競技大会への	
第8回幹事会.....	食品提供.....	10
第9回幹事会.....	● <b>INFORMATION</b> .....	10



2012  
国際協同組今年

2012年は国連が定める **国際協同組今年** です。

## 2012年 賀詞交歓会を開催しました

1月20日(金)17時よりホテルメトロポリタン長野(長野市)において、県生協連2012年賀詞交歓会を開催しました。国会・県議会議員、友誼団体、報道各社、長野県虹の会(お取引先様)、会員生協の役職員を合わせ77名が和やかに交流を深め、大変有意義な賀詞交歓会となりました。

冒頭、古田好男副会長理事の開会挨拶、清水邦明会長理事の主催者挨拶の後、加藤さゆり長野県副知事、篠原孝衆議院議員、若林健太参議院議員、竹内久幸長野県議会副議長、春日十三男JA長野中央会参事からご挨拶をいただき、ご出席いただきました国会議員(代理)「下条みつ議員(防衛大臣政務官・衆議院議員)秘書、吉田博美議員(参議院議員)秘書」並びに長野県議会議員「倉田竜彦議員(改革・新風代表)、石坂千穂議員(日本共産党県議団団長)、高橋宏議員(県政ながの顧問)、永井一雄議員(無所属改革クラブ代表)」の皆様をご紹介させていただきました。

続いて、縣美智子理事が日本生協連会長からの祝辞を代読し、長野県虹の会の中村幸男代表世話人(信州ハム株式会社代表取締役社長)に乾杯の発声をいただき、歓談に入りました。また、日本生協連中央地連の本間章治事務局長からのご挨拶や県生協連の役員の紹介を行い、鷓飼照喜長野県消費者団体連絡協議会会長の中締めが続いて、吉池繁夫副会長理事が閉会挨拶を行い、盛会のうちにお開きとなりました。



加藤さゆり 長野県副知事



篠原 孝 衆議院議員



若林健太 参議院議員



竹内久幸 長野県議会副議長



春日十三男 JA長野中央会参事

## 下期研修会を開催しました

1月20日(金)13時30分よりホテルメトロポリタン長野(長野市)において、県生協連下期研修会を開催し、長野県企画部消費生活室、長野県議会議員、報道各社、長野県虹の会(お取引先様)、会員生協及び県生協連役員含め42人が参加しました。

冒頭、清水邦明会長理事より挨拶があり、講演の第1部では長野経済研究所調査部長の小澤吉則氏を講師に「長野県経済の現状と2012年の見通し」と題して、不透明な時代の中で、足元に広がる生活を見つめ直し、人口変化の大きな流れを掴み、柔軟な発想で、自らの強みを生かすことの大切さを語っていただきました。

また、講演の第2部では、長野県副知事の加藤さゆり氏を講師に「長野県行政の課題と生協・消費者団体への期待」と題して、新総合5ヶ年計画が目指している姿、消費者・生活者の視点からの提言の必要性、消費者団体と行政が良きパートナーの関係としてつき合うこと、消費者被害の未然防止の取り組みでの連携、消費者団体へは地域の声を集めていただき、これまでの活動の中からつながりと信頼をさらに深めることなどの期待を語っていただきました。



勤長野経済研究所調査部長 小澤吉則氏



長野県副知事 加藤さゆり氏

## マスコミ懇談会を開催しました

2月17日(金)17時よりホテルメトロポリタン長野(長野市)において「マスコミ懇談会」を開催しました。今回で6回目となるこの懇談会は、県内のマスコミ各社に、生協の事業や活動の現況をお伝えし、一層の理解を深めていただくことを目的に開催しています。

当日は、NHK長野放送局、信濃毎日新聞社、(株)テレビ信州、信越放送(株)、(株)長野放送から5名の方々にご出席をいただき、県生協連からは清水邦明会長理事をはじめ理事7名・監事2名と事務局を含め11名が参加しました。

冒頭、清水邦明会長理事の主催者挨拶に続いて、小松由人専務代行が県生協連の概要や活動、会員生協の事業・イベント情報の説明を行い、また、2012国際協同組合年の全国や長野県の取り組みについて、映像や資料を用いて報告しました。さらに、縣美智子理事が、コープながのの組合員活動について説明をしました。

懇談では、県生協連や会員生協の事業・活動並びに2012国際協同組合年の取り組みなど幅広い話題での交流や生協に対する理解を深めていただくことができたほか、マスコミ各社より会員生協や県生協連に対する要望もお聞きすることができ、大変有意義な懇談会となりました。



## 第7回理事会を開催しました

日時：2月17日(金) 14時30分～16時15分

場所：ホテルメトロポリタン長野 戸隠の間(長野市)

出席：11名(理事9名：監事2名)

内容：以下の案件について審議を行い、承認しました。

1. 2011年度活動のまとめ及び決算見直し  
(第1次案)
2. 2012年度活動方針(第1次案)
3. 2012年度長野県生協連会議日程(第1次案)
4. 「集团的消費者被害回復に係る訴訟制度」の創設を求める世論形成の取り組み
5. 2012年「虹のフェスタ」の国際協同組合年「協同組合まつり」への変更
6. 震災被災支援募金の支出
7. 2012年度中央地連・運営委員会委員の推薦
8. 平成24年度長野県食品衛生監視指導計画(案)に対する意見



続いて、第6回理事会以降の機関会議、活動報告や行政・他団体から提供された情報を報告し、すべて承認されました。

1月20日第9回常任理事会、2月17日第10回常任理事会を開催し、第7回理事会の審議事項等の検討を行いました。

## 介護福祉部会が長野市と懇談しました

県生協連介護福祉部会は、2月22日(水)長野市職員会館2階会議室において、長野市介護保険課・高齢者福祉課との懇談会を開催し、長野市から田中幸廣介護保険課長、徳武正男高齢者福祉課長はじめ6名、県生協連から鈴木友子部会長(県生協連理事・長野県高齢者生協専務理事)はじめ、長野医療、県高齢者、全労済の3生協と県連生協から6名が参加しました。

開会にあたり、鈴木部会長と田中課長が挨拶を行った後、参加者が自己紹介を行いました。

その後、生協の介護福祉部会の取り組みを報告し、長野市のあんしんいきいきプラン21の概要を中心に田中課長から説明を受けました。続いて、地域包括ケアシステム、定期巡回型訪問看護など平成24年4月の制度改定について、また、小規模多機能施設の補助対象などについて意見交換しました。



## 長野県生協災害対策協議会を開催しました

2月14日(火)10時30分よりコープながの本部会議室(長野市)において、2011年度第2回長野県生協災害対策協議会を開催し、全労済長野県本部、セイコーエプソン、コープながの、生活クラブ長野、信州大学の各生協の委員と県生協連事務局の7名が参加しました。

冒頭、待井忠活委員長(全労済長野県本部 総務管理部長)が挨拶を行って開会するとともに議長を務め、議事を進行しました。

事務局が以下の事項を報告し、確認しました。

- (1) 2011年度第1回長野県生協災害対策協議会
- (2) 長野県総合防災訓練(飯山市)
- (3) コープ防災塾 わがまち減災 MAPシミュレーション研修会
- (4) 災害時想定通信訓練(年2回実施)
- (5) 災害時における物資の調達等に関する協定書の一部改定
- (6) 県労福協 自然災害セミナーの開催

続いて、事務局が以下の事項を提案し、確認しました。

- (1) 2011年度の活動のまとめと2012年度の活動方針(案)について
- (2) 東日本大震災、長野県北部地震の発生から今日までの会員生協の支援(人的・物的・義援金、今後の支援内容など)についてのまとめの作成について

次に、東日本大震災・長野県北部地震における参加会員生協の現在の取り組みや生協内での防災の取り組みについて報告を受け交流を行いました。



## 県消団連活動報告

### 第8回、第9回幹事会を開催しました

#### ◆第8回幹事会

日時：1月25日(水) 11時45分～12時40分

場所：長野県婦人会館 会議室(長野市)

出席：11名(幹事・監事8名、事務局3名)

内容：鶴飼照喜会長が議長を務め、議事を進行しました。

1. 事務局が以下の事項を提案し、すべて承認されました。
  - (1) 県主催の消費者問題シンポジウムへの共催と参加について
  - (2) 第5回長野県食品安全・安心条例(仮称)検討委員会への対応について
  - (3) 平成24年度長野県食品衛生監視指導計画(案)への意見について
  - (4) 「集团的消費者被害回復に係る訴訟制度」の創設を求める世論形成の取り組みについて
  - (5) 「国際的な経済連携による県内各分野への影響について」の意見について
2. 事務局が、以下の事項を報告し、了承されました。

第7回幹事会、第41回長野県消費者大会、第4回長野県食品安全・安心条例(仮称)検討委員会、信州エコポイント事業の今後の運営、平成23年度第2回長野地域センター主催の「消費者団体との意見交換会」他

3. 事務局が、以下の事項について情報提供を行いました。

消費者ネットワーク、消費者機構日本ニュースレター、全国・長野県石油製品価格動向調査結果



## ◆第9回幹事会

日時：2月21日(火) 10時30分～11時35分

場所：信州大学教育学部西校舎101会議室(長野市)

出席：13名(幹事9名、監事1名、事務局3名)

内容：鵜飼照喜会長が議長を務め、議事を進行しました。

- 1.事務局が以下の事項を提案し、すべて承認されました。
  - (1)集团的消費者被害に係る訴訟制度」の創設を求める世論形成の取り組みについて
  - (2)長野地域センター主催の「消費者団体との意見交換会」の開催について
  - (3)標準営業約款登録審査委員並びに標準営業約款推進長野県協議会委員の委嘱について
  - (4)「脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める全国署名」について
- 2.事務局が、以下の事項を報告し、了承されました。

第8回幹事会、HACCPサテライトセミナー、消費者問題シンポジウム、第5回長野県食品安全・安心条例(仮称)検討委員会、平成23年度信州エコポイント事業第2回実行委員会、松本消費生活センター岡谷支所の本所への統合、環境にやさしい買物キャンペーンの実施結果、消費者安全法及び特定商取引法の一部を改正する法律案

- 3.事務局が、以下の事項について情報提供を行いました。

消費者ネットワーク、消費者機構  
日本ニュースレター、長野県石油製品価格動向調査結果



## HACCPサテライトセミナーを開催しました

1月25日(水)10時30分より、長野県消団連と食品産業センターの主催にて「HACCPサテライトセミナー」を長野県婦人会館会議室(長野市)にて開催し、県消団連への所属団体・組織及び幹事、事務局を含め17名が参加しました。

冒頭、鵜飼照喜会長の挨拶に続いて、食品産業センターの妻谷勝弘技術環境部次長が「食の安全・安心につながるHACCP」と題して、講演を行いました。

講演では、安全・安心の違い、各種化合物の急性毒性、社会生活に潜むリスク、食品の安全を損なう要因、原因別食中毒発生状況、日本におけるHACCP認証制度、HACCP導入のメリット・デメリット、家庭でのHACCPについて、映像を用いてわかりやすく講演いただきました。

質疑応答では、放射能のリスクの取り上げ方への疑問、自治体認証制度、HACCPの認証機関やその後の審査などについて意見が出されました。



## 消費問題シンポジウムが開催されました

2月7日(火)13時より「長野県消費者問題シンポジウム」が長野保健福祉事務所庁舎3階会議室(長野市)で開催され、県下各地から180人を超える消費者が参加しました。今回のシンポジウムは、長野県が主催、長野県消費者団体連絡協議会(県消団連)と長野県消費者の会連絡会が共催して開催されました。



開会に先立ち、県企画部消費生活室の小口由美室長が主催者挨拶を行い、基調講演では、全国消団連の阿南久事務局長が「だまされないための賢い情報選択とは！」と題し、情報の入手先、消費者被害の傾向、安全な情報を確保するためのポイント、消費者自身の課題と消費者組織の役割などについてわかりやすく講演をいただきました。



後半は、阿南事務局長をコーディネーターに「効果的な消費者啓発・教育とは」をテーマに、4人のパネリスト『コーディネーター 阿南久氏(全国消団連事務局長)、パネリスト 鷓飼照喜氏(県消団連会長)、小林達也氏(長野市消費生活センター係長)、最上純子氏(長野FM放送パーソナリティ)、北澤潔氏(県教育委員会事務局教学指導課指導主事)』によるパネルディスカッションが行われました。

最後に、鷓飼県消団連会長が、講師に対するお礼を兼ねて閉会挨拶を行いました。

## 国際協同組合年・協同組合間活動報告

### 2012国際協同組合年 第2回長野県実行委員会が開催されました

1月28日(土)11時30分よりJ A長野県ビル13階会議室にて、第2回長野県実行委員会が開催され、実行委員会役員及び幹事他34名が出席しました。

冒頭、実行委員長の大槻憲雄J A長野中央会・各連合会会長が挨拶を行い、議長に選任され議事を進行了ました。議事では、幹事長の高山宏一J A長野中央会地域農政部長が第1号議案2011年度事業報告並びに収支決算について提案し、続いて、当委員会監事の中山千弘長野県労働者福祉協議会理事長が監査報告を行いました。第2号議案2012年度事業計画並びに収支予算(案)、第3号議案 2012年度負担金の賦課・徴収(案)、第4号議案2012国際協同組合年オープニングイベント開催について提案があり、各議案の提案後に採決が行われ、満場の拍手で全議案が承認されました。2012年度の事業計画の中で10月14日(日)に長野県協同組合まつり(仮称)を開催することも確認されました。



また、同実行委員会の賛同団体として、(株)日本農業新聞東京支所、(株)農協観光長野支店が新たに加入することが報告確認されました。

## 2012国際協同組合年オープニングイベントが開催されました

1月28日(土)13時00分よりJ A長野県ビルアクティールホールにて2012国際協同組合年オープニングイベントが開催され、構成団体の組合員・役職員、賛同団体、一般参加者他300名が参加しました。

冒頭、2012国際協同組合年長野県実行委員会副委員長の清水邦明県生協連会長理事が開会の挨拶、実行委員長の大槻憲雄J A長野中央会・各連合会会長が主催者挨拶を行い、続いて、来賓として県農政部長の萩原正明様よりご挨拶をいただきました。

基調講演では、J A全中総務企画部長の比嘉政浩氏より「いま、なぜ協同組合なのか ~国際協同組合年のスタートにあたって~」と題して講演をいただき、国連が国際協同組合年と定めた背景や全国実行委員会の平成24年度の行動計画等について講演をいただきました。

また、特別講演では、福島県生協連会長理事の熊谷純一氏より「東電原発事故その時福島で何が起きたか? 今後の課題」と題して講演をいただき、福島県生協連が作成した映像(DVD)の視聴や福島県内の原発汚染の広がり、避難や被害を巡る問題、今後の課題(ゆくえ)についてお話をいただきました。

休憩後、国際協同組合年後援事業映画「人生、ここにあり!」の上映があり、イタリアの障がい者が組織する協同組合の実話に基づくドラマを通じて社会的協同組合について理解を深めました。

当委員会副委員長の近藤政雄県漁連会長が「2012国際協同組合長野県宣言(案)」を朗読し、満場の拍手で採択されました。最後に、田中高徳県森連代表理事専務が閉会の挨拶を行いました。



福島県生協連 熊谷純一 会長理事

## 長野灯明まつりにて、国際協同組合年のPR活動が行われました

2012国際協同組合年長野県実行委員会は、長野灯明まつり(2/11~19)の開催にあわせ、2月11日と2月18日の2日間、いずれも18時より長野中央通り権堂商店街入口付近にて、2012国際協同組合年のPR活動を行いました。

両日は、2012国際協同組合年長野県実行委員会の構成団体とJ Aながの方々に参加協力をいただき、国際協同組合年のPRパンフレット(ポケットティッシュ)の配布や灯明なべ(長野県産のきのこを使用したきのこ汁)が振る舞われました。

長野灯明まつりや他のイベントも開催され多くの見物客が訪れ、幅広く国際協同組合年のPRに繋げることが出来ました。また、1500食用意した灯明なべも好評で、両日ともに1時間半程度で終了しました。





## 国際協力田米の合同発送式・学習会に参加しました

1月13日(金) J A長野県ビル南側入口にて、J A長野中央会と長野県労農会議、食と農と環境を育むネットワークの主催によるアジア・アフリカ支援米・国際協力田米合同発送式が開催されました。

発送式では、J A長野中央会の小松正俊専務理事、食と農と環境を育むネットワークの小松由人長野県生協連専務代行、長野県労農会議の竹内久幸議長より主催者挨拶がありました。また、支援米の栽培に取り組んだ長野市立古里小学校や飯田市川路保育園からのメッセージが読み上げられ、「マザーランド・アカデミー」からのメッセージも代読されました。

そして、支援米の袋にメッセージを書き入れコンテナに積み込みました。

国際協力田運動は国際的な食糧支援活動で、県内の15のJ A、小学校、住民ボランティア、労働団体、生協等の協力も得ながら栽培・収穫したお米を、毎年1月に食糧難にあえぐアフリカのマリ共和国に贈っています。

長野県生協連とJ A長野中央会などで構成する「食と農と環境を育むネットワーク」も取り組みに賛同して、県生協連・コープながのも毎年発送式に参加しています。14年目を迎える今年は、J Aあづみとコープながの組合員(家族)が作った約540kgを含む5,606kgが2台のコンテナに積まれて出発しました。

発送式終了後は、マザーランド・アカデミー・インターナショナルの村上章子代表を講師に、学習会が開催され、「国際協力田米の3つの働きと現地状況」と題し、講演をいただきました。



マザーランド・アカデミー・インターナショナル  
村上章子代表

## その他活動

### 栄村豪雪支援に参加しました

2月18日(土)に栄村支援活動で、除雪ボランティアに参加しました。

この取り組みは、長野県労働者福祉協議会の呼びかけで行われ、北信地区の労働組合や生協から12名と現地のNPOの方々が参加しました。生協からは、生活クラブ生協長野(2名)と県生協連(3名)の5名が参加しました。

当日は、9時30分に村内の仮設住宅集会所で打合せをしたあと、現地のNPOの方々の案内で4箇所に分かれました。生活クラブ生協の2名は、青倉地区の民家の周りの除雪作業を県生協連の3名は小滝地区の2階建ての物置の周りの除雪を行いました。

小滝地区の除雪では、道路から3メートル積もった雪の上にあがり、スノーダンプで道路側に落とし、除雪車が作業できる場所作りをしました。

午前2時間、午後1時間で予定していた作業を終えることができました。また、現地の方々とも休憩や昼食をとりながら、長野県北部地震の復興や豪雪に対する苦勞をお聞きすることを通じ、交流を深めることができました。

今後も県生協連として、会員生協の協力を得ながらできる限りの支援活動を進めて行きます。



## 障害者クロスカントリー競技大会に食品を提供しました

県生協連は、2月18日(土)、19日(日)に白馬村スノーハープ(クロスカントリー競技施設)で開催された2012ジャパンパラリンピッククロスカントリースキー競技大会に、NPO日本障害者クロスカントリースキー協会の要請で、エイドステーション(選手・関係者に飲食物を提供するコーナー)に食品の提供を行いました。県生協連からはカップ麺360個と協会から依頼されたお菓子類やココア、紅茶等のパックを提供し、また、長野県虹の会(お取引先の会)の会員であるゴールドパック株式会社より日本茶のペットボトル400本を無償で提供いただきました。

県生協連からは、小松由人専務代行が19日に会場を訪問し、中森邦男日本パラリンピック委員会事務局長、荒井秀樹監督、加藤弘日本障害者クロカン協会副会長、長野県から出場した傳田寛選手などの大会関係者にお会いし、エイドコーナーや表彰式、閉会式の様子を見学しました。



## Information

月 日 会議・活動内容など

3月1日(木) 社会保障と税のあり方を考えるシンポジウム(東京)

3月5日(月) 関東農政局長野地域センター意見交換会

3月6日(火) 第11回常任理事会、県労福協自然災害セミナー

3月15日(木) 県労福協理事会

3月16日(金)-17日(土) 介護福祉部会県外視察

3月16日(金) 地連：都県連事務局会議

3月19日(月) 県消団連第10回幹事会

3月23日(金) 役員推薦委員会、役員報酬委員会、第8回理事会

3月29日(木) 日本生協連総会議案検討委員会

4月2日(月) 県労福協共同編集会議

4月4日(水) 2012国際協同組合同年長野県実行委員会第9回幹事会、消費者問題ネットワークながの学習会

4月10日(火) 2012年度第1回常任理事会

4月17日(火) 全期監査

4月19日(木) 長野県虹の会世話人会

4月24日(火) 2012年度第1回理事会

会報 ねっとわあくNo.219

発行：長野県生活協同組合連合会 〒380-0921 長野市栗田950-6 メゾン栗田102

TEL.026-224-3161 FAX.0262-224-3162

ホームページ <http://nagano-seikyoren.org/index.php>